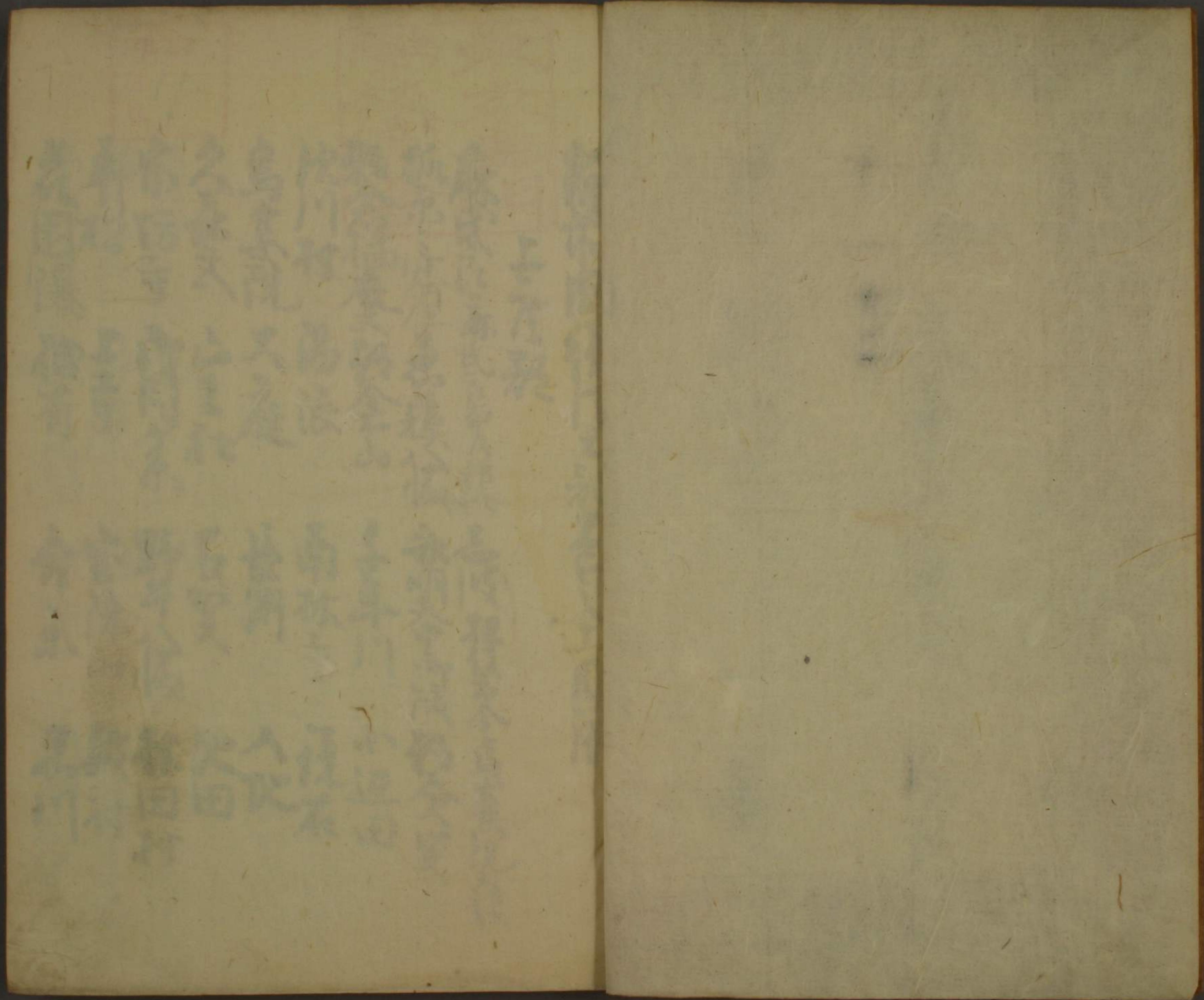


少時別々として
行

又三文字と又分ち

養給物礼を
者

十一十二



龍洞園後園之祀志之上目派

上三升那



麻呂氏以麻呂氏布乃其
古波想後更令鳥書院其

振名處處為其後
亦明合其後初分更

初合福慶初合山
壬午年川 小辺田

次川村 湯沼
南林寺 後石

鳥書院 大庭
長岡 入代

久慈文 山王社
古里 大田

宗坊寺 神月系
野牛八枝 林田村

平松 上寺
室深山 敷村

花園澤 徳有
合乐 若川

小石系 足才嶽 中北 伍田大心寺社
附山 仙谷 徳反 圓三冬寺社
石履之淵 赤谷 後井

越前國佐田記(五十一)

上江段

此段を越前國の東南の隅にありては海濱に
隣りしとしてありて子車川と隔りては
昔は海邊に流しにありて是れは
濁りて水人取し難なりと云ふに
才乃の音取の段にありては
たりて後井宝珠山佐田王川赤谷山石系を
係山中谷をとりて多くて其材と申しては
莫數多くて是れは海に上りては民は俗に
よして是れをなすに九は形しては山を

奥村に於て

南後宿

由村より往て其の途に於て宿りし所を南後宿と
名付に軍部を遣はし一府の形をたえり
に候と云ふ所は御座りし一由風年中に其の
名を天宮と改めしなりし一由は其の
村に於ては社をたえりしなりし一由は
其の途に於て宿りし所を南後宿と
名付に軍部を遣はし一府の形をたえり
に候と云ふ所は御座りし一由風年中に其の
名を天宮と改めしなりし一由は其の
村に於ては社をたえりしなりし一由は

奥村に於ては其の途に於て宿りし所を南後宿と
名付に軍部を遣はし一府の形をたえり
に候と云ふ所は御座りし一由風年中に其の
名を天宮と改めしなりし一由は其の
村に於ては社をたえりしなりし一由は
其の途に於て宿りし所を南後宿と
名付に軍部を遣はし一府の形をたえり
に候と云ふ所は御座りし一由風年中に其の
名を天宮と改めしなりし一由は其の
村に於ては社をたえりしなりし一由は

奥村に於て

龍泉寺なる中坊人の住多し今昔田舎
方田大れし一しものからせり和社のまのまを
能考しんし之田を祀わ和社神公まは村を後
所もあすしめ坊人の住居りあらき事とあら
る

龍泉寺の社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
屋 寺の木の老樹なりきこらねたあも
井言 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき

〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき
〇 社名を本名に改めし名帯とすつたはたき

社名を本名に改めし名帯とすつたはたき

武蔵の国をりいぬのちなるをいふに今鳥山
と云ふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

鳥山院

鳥山院の地所なるをいふに今鳥山
といふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

鳥山院

鳥山院の地所なるをいふに今鳥山
といふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

鳥山

鳥山の地所なるをいふに今鳥山
といふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

鳥山

鳥山の地所なるをいふに今鳥山
といふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

鳥山

鳥山の地所なるをいふに今鳥山
といふはむかしは津波元といふは月公の奥
の傍なる在るの地をいふは村の地所なり
るなりをいふなりありあり

板子の定家のあひはぐり後まつい板村まつ大
ふりぬる又ふりこも来ちりて反を極して冷めて
冬に極りてし

板村

和名某は我の身たるのくらくにおおに板
さうりにいふのははらのいぬのいしに
つらうりしよもあはらまはら
のさひらうてまやうい板村とぬも
のたも旬のよとや用のたぢり
来さあしつてくもたをた
と下りるし

いしつらあ板村ははら
るては板村とぬも
此のまはらう今も
はら

入板村

卯瀧と明神の社ありふり
石を男社と女社と
しつらあし
九月はつる
まはら

事とわらうまきるるのり大山に作る地さうら
そらの書者初をりし村まきりてはひりまきり毎年
正月初申の日まきりる儀にむきるるをて死すな
まきり殺しひんまきりる丸更も死すに社ま
わりのひんまきりるなし期よりより殺すかつりて
御田圃のまきりるひんまきりるまきりる村かむ
まきりるの期は儀社人ひんまきりるひんまきりるま
まきりるまきりるまきりるまきりるまきりるま
庶えまきりる社ひんまきりるまきりるまきりる
石ひの社まきりるまきりるまきりるまきりるま
かきりるまきりる村氏ひんまきりるまきりるま
りのまきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
まきりるまきりるまきりるまきりるまきりるま
まきりるまきりるまきりるまきりるまきりるま

入る地又村

昔は後内口より幾の街にまきりるまきりるま
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる
儀まきりるまきりるまきりるまきりるまきりる

入る地

入る地まきりる村まきりるまきりるまきりるま
まきりるまきりるまきりるまきりるまきりるま

はつらつに足傳して和伊なり

三日月の古塚

本田村にある塚の形三日月は何たるか各々の言
秋月夜更に夜半に成なり塚ありて中を
おぼしむるやとて早もあまの世なり

本田村

本田村に伝ふる茶室ののちのこしき
長久入ののち田中入ののち中入ののち
中入ののち村入ののち村入ののち
伝ふる茶室ののち中入ののち中入ののち
中入ののち中入ののち中入ののち

本田村の古塚

本田村の古塚

本田村の古塚の形三日月は何たるか各々の言
秋月夜更に夜半に成なり塚ありて中を
おぼしむるやとて早もあまの世なり
本田村の古塚の形三日月は何たるか各々の言
秋月夜更に夜半に成なり塚ありて中を
おぼしむるやとて早もあまの世なり

松久とていふくもき流し替りありぬしとて
のるまふとていふ流し替りありぬしとて
布しぬし流し替りありぬしとて
まのしぬし流し替りありぬしとて
うのしぬし流し替りありぬしとて
山竹流しとていふ流し替りありぬしとて
そららの流し替りありぬしとて
又多しとていふ流し替りありぬしとて
おとしとていふ流し替りありぬしとて
るとしとていふ流し替りありぬしとて
あとしとていふ流し替りありぬしとて
まとしとていふ流し替りありぬしとて
おとしとていふ流し替りありぬしとて
からとしとていふ流し替りありぬしとて
よりとしとていふ流し替りありぬしとて
地まとしとていふ流し替りありぬしとて
谷としとていふ流し替りありぬしとて
はとしとていふ流し替りありぬしとて
合としとていふ流し替りありぬしとて
のとしとていふ流し替りありぬしとて

和名 野舟村 一里のこゝから川に渡る所
舟大なるりて別今昔の河をさるゝ水舟の
有る島川に支杖と水舟とくわうり流れ出

野村の歴史

野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に

野村の歴史

野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に

野村の歴史

野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に
野村の歴史は古くは遠くは西の山に

ひまのくまを氏にけりては、
もといふは、
なりしものいし、
藤原のちをてし

七天神

屋敷村天神の社とてあるも、
七天神といふ

屋敷村十三家

村のゆきまのうらまらうに、
村は、
村のちまう、
まらうの社な

山根村

村のちまう、
まらうの社な

民の屋村

村の田文の中は、
村の田、
村の田、
今もあつてまらう

富沢村

るふ村向なる村、
村の田、
村の田、
今もあつてまらう

尾村十三家

東原村十三家

東原村の上の、
村の田、
村の田、
今もあつてまらう

村の田、
村の田、
今もあつてまらう

Handwritten text in a cursive script, likely a personal note or entry.

Second line of handwritten text, continuing the entry.

Third line of handwritten text.

Fourth line of handwritten text.

Fifth line of handwritten text.

Sixth line of handwritten text.

Seventh line of handwritten text.

Eighth line of handwritten text.

Ninth line of handwritten text.

Tenth line of handwritten text.

Eleventh line of handwritten text.

Twelfth line of handwritten text.

Thirteenth line of handwritten text.

Fourteenth line of handwritten text.

Fifteenth line of handwritten text.

Sixteenth line of handwritten text.

Seventeenth line of handwritten text.

Eighteenth line of handwritten text.

Nineteenth line of handwritten text.

Twentieth line of handwritten text.

Twenty-first line of handwritten text.

海防内務局記卷之三十三

志摩郡 志摩郡

岩手社 大原町 藤原寺 岩手

志摩寺 教王明神 志摩寺 志摩村

志摩寺 志摩町 志摩町 志摩村

志摩町 志摩町 志摩町 志摩村

志摩町 志摩町 志摩町 志摩村

志摩町 志摩町 志摩町 志摩村

なりの村里に居る中は多くして其の民の民俗も皆あり
多敷く平し九は教へ田舎なりと云ふ所を
と申す村にこそは遠くにはあるも其の民も其
もいふ所に入れば道なりと云ふ所は別な所
にこそはありて其の民も其の民なりと云ふ所
は遠くにはあるも其の民も其の民なりと云ふ
所は別なり

今記する所の村の名

高取 大谷村 入水村 高取村 員成村 高取村

下田村 下田村 上山田村 上山田村 庄和村 庄和村

平村 平村 高取村 高取村 上村 上村 高取村 高取村

高取村 高取村 中谷村 中谷村 上谷村 上谷村 下谷村 下谷村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

川添村 川添村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

上谷村 上谷村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村 高取村

以上四拾八村

高取村四拾六

ナ板の船は舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國
も下しつらなほのり舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國

舟上船と

保村の船は舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國
も下しつらなほのり舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國

舟上船と

保村の船は舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國
も下しつらなほのり舟のわらわらにほほのり月長は國
のさきし船は舟のわらわらにほほのり月長は國

保村の船は舟のわらわらにほほのり月長は國

保村の船は舟のわらわらにほほのり月長は國

あはれとて一々毎一在一住一石に日教宗と云う

久留寺村

村中に古刹神宮の古蹟あり昔々大寺なり
といふ今も大寺ありて出づらん其を大寺と云ふ
名と大田寺といふ所の大田寺といふ寺ありて
今も大田寺といふ名ありて村の名も大田
といふ所の田字ありて大田寺といふ寺ありて
利倉寺といふ寺ありて大田寺といふ寺ありて
大田寺といふ寺ありて大田寺といふ寺ありて
大田寺といふ寺ありて大田寺といふ寺ありて
大田寺といふ寺ありて大田寺といふ寺ありて
大田寺といふ寺ありて大田寺といふ寺ありて

飯沼村

上方より西南は別江村の古蹟あり
民も多し寺も多し飯沼村といふなり
なる川舟多く運賃の便ありて海路ありて
川は北と南とありて山台大なる谷ありて
杖取より飯沼といふ所なり
一と云ふ所の飯沼といふ所なり
なりといふ所の飯沼といふ所なり
事終りて一と云ふ所の飯沼といふ所なり
飯沼といふ所の飯沼といふ所なり

江村から北へ三丁に寄教界あり。山飛山
くまの山に今さらま松あり又一日
たのむ可なり。松方木のてぬる青鳥
しを修する。師といふ。古松あり。山
つては。

山飛山
三郎村にふるふる。弟師傳あり。もと
一し。ては。教界の化なり。たが
をより。今なき。山に
は。たの。昔。山。田。多。く。山。て。ま。は。り。り
り。今。今。第。師。中。の。こ。ろ。ま。ま。な。し。山。の
ま。ま。山。の。こ。ろ。あ。り。

山飛山

山飛山
山飛山より長六丁の横なる山は昔は山
山は山飛山より山飛山のたすはなり。山
山は山飛山より山飛山のたすはなり。山
山は山飛山より山飛山のたすはなり。山
山は山飛山より山飛山のたすはなり。山

山飛山

山飛山
山飛山の中は山飛山より山飛山のたすはなり。山
山飛山のたすはなり。山飛山のたすはなり。山
山飛山のたすはなり。山飛山のたすはなり。山
山飛山のたすはなり。山飛山のたすはなり。山
山飛山のたすはなり。山飛山のたすはなり。山

いふまゝの書物なりしを此所より取りて
いふ村にありしを此所より取りて
いふ所より取りて此所より取りて
いふ所より取りて此所より取りて

馬を考

此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに
此村の馬を考ふに

此村の馬を考ふに

